

県民の食を支える担い手の支援について

◆ 11月は地産地消月間 *近・が・う・ま・い・埼・玉・産*

◆ 県民に新鮮で多彩な農産物の安定供給

埼玉農業を支える担い手の支援

新規就農者数(年間) 284人 → 321人
(H26) (R1)

農業法人数 722法人 → 1,128法人
(H26) (R1)

新規就農支援

▶ 埼玉県農業大学校

▶ 明日の農業
担い手育成塾



基礎的な技術や経営を学ぶ 実践的な技術や経営ノウハウの習得

経営力向上支援

▶ 埼玉農業経営塾



経営者としてのマインドを習得

先端技術支援

▶ スマート農業技術の普及



効率的、省力化した農作業

令和2年度 埼玉農業大賞の受賞者決定について

目的

優れた成果を上げている農業者を表彰し、その成果を称え、広く紹介

農業ベンチャー部門

- ▶ 新規性、独創性のある技術を持ち、革新的な農業経営に取り組むことで今後の飛躍が見込まれる農業者

地域貢献部門

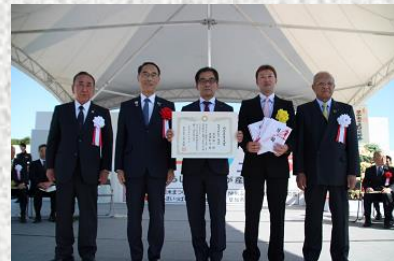
- ▶ 農業を通じた活動が、地域農業の振興や活性化に優れた功績を上げている農業者

表彰式

日時 令和2年11月24日(火曜日)

14時00分～14時30分

場所 埼玉県知事公館 大会議室



令和元年度の表彰式(草加市)

令和2年度 埼玉農業大賞の受賞者決定について

大賞

農業ベンチャー部門

株式会社ベジファーム北本(北本市)

- ▶ バイヤーとの直接交渉で量販店に産直の販路を開拓
- ▶ 全量を60店以上の量販店産直コーナーに出荷
(経営規模 のべ23ha)



地域貢献部門

愛澤 健雄 氏(嵐山町)

- ▶ 東日本大震災による原発事故に伴い、福島県浪江町から嵐山町に移住し、平成24年に営農を開始
- ▶ ほうれんそう栽培を町に広げる (市場出荷0戸→8戸)



令和2年度 埼玉農業大賞の受賞者決定について

優秀賞

農業ベンチャー部門

秩父ぶどう組合連絡協議会(秩父地域)

- ▶ 秩父限定品種「ちちぶ山ルビー」をブランド化
- ▶ 新規就農者の育成、儲かるぶどう経営を実現



地域貢献部門

JAいるま野さけ武蔵生産組合(川越市)

- ▶ 酒蔵の杜氏との交流やデータに基づく酒米の栽培技術向上を実践
- ▶ 全国新酒鑑評会において金賞を受賞



地域貢献部門

株式会社茂木ファーム(熊谷市)

- ▶ 地域における飼料用のイネの作付け拡大の先頭に立つ
- ▶ ジャンボタニシの広域一斉防除など、地域ぐるみの取組をリード



とくとく埼玉！観光応援キャンペーン

概要

新型コロナウイルス感染症の影響により大きなダメージを受けた観光需要の回復を図るため、県民向けの観光キャンペーン等を行い、幅広く観光関連事業者を支援する。

観光クーポンの配布



宿泊観光客
〔県民限定〕

1人3,000円
(10万人分)

◆GoToトラベルで宿泊

クーポン利用例



飲食店



土産物屋



タクシー

◆配布期間：令和2年11月7日～
令和3年 3月1日 ※チェックアウトまで

スタンプラリーの実施











- ◆スマホアプリを活用したデジタル版でのスタンプラリー
- ◆県内観光スポット3か所以上を周遊
- ◆抽選で合計300人に、最高5万円相当の景品を贈呈
- ◆実施期間：令和2年11月 7日～
令和3年 2月28日

観光バスの需要喚起



- ◆「彩の国『新しい生活様式』安心宣言」遵守のスポットを巡るバスツアー
- ◆業界ガイドラインに則った安心・安全なバスを利用
- ◆対象期間：令和2年11月 1日～
令和3年 2月28日

埼玉県の感染動向の推移について

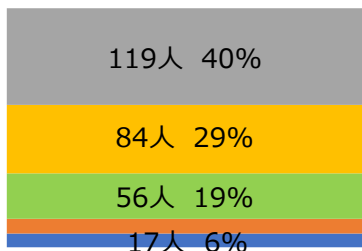
	10月14日～ 10月20日	10月21日～ 10月27日	10月28日～ 11月3日	最大値
新規陽性者数 ※ 1週間の合計	296人 	256人 	263人	435人 (8/2～8/8)
重症病床の占有率 ※ 1週間の平均	8.4% 	8.7% 	9.1%	32.6% (4/21～4/27)
陽性率 ※ 1週間の合計	2.6% 	2.2% 	2.7% <small>※10月27日～11月2日の数値</small>	15.1% (4/6～4/12)
東京都の陽性者数 ※ 1週間の合計	1,228人 	1,101人 	1,221人	2,424人 (7/30～8/5)

埼玉県の感染動向の推移について

感染疑い経路区分

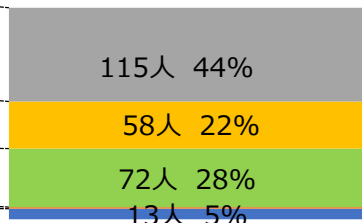
10月13日～10月19日

計294名



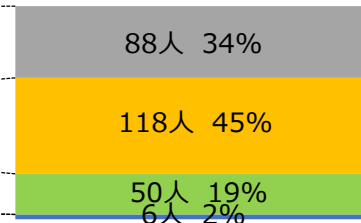
10月20日～10月26日

計260名



10月27日～11月2日

計262名



■ 都内での感染 (2次感染を含む)

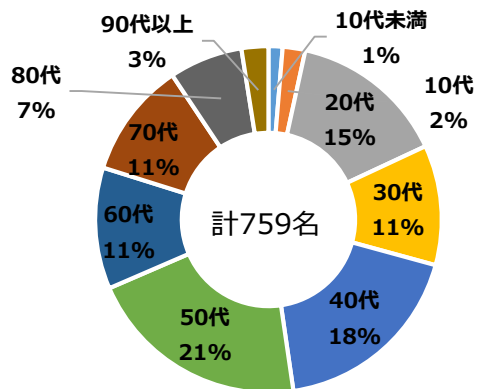
■ 夜の街関連

■ 家庭内

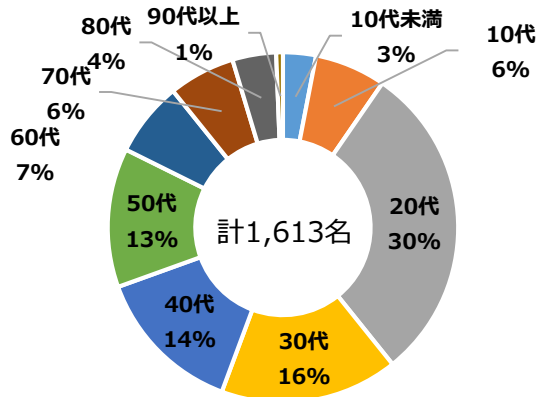
■ その他感染経路が推定できるもの

■ 不明

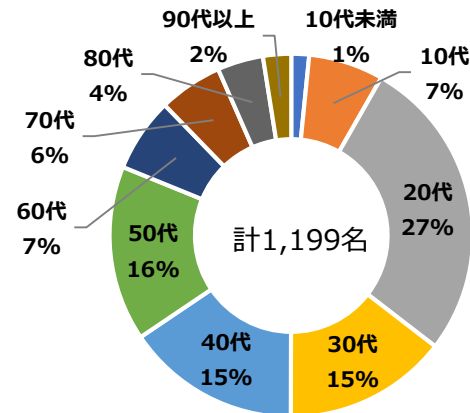
年齢構成



4月1日～4月30日



8月1日～8月31日



10月3日～11月2日

専用医療施設公募の応募状況について

募集内容

応募期間

令和2年10月15日
～31日

募集病床数

新規病床数	199床
既存病院からの移設分	121床
計	320床

(フェーズⅣ)

目標数 1,400床
確保数 1,201床
必要数 199床

応募状況

応募医療機関数：**9**

応募病床数

新規病床数	212床
既存病院からの移設分	77床
計	289床

公募開始前の確保数	1,201床
公募開始後に一般病床から転換した分	5床
新規に整備する病床数	212床
整備後の病床数（計）	1,418床

※ 現在計画の内容を
審査中のため
病床数変動の可能性あり

感染リスクを下げるための5つのポイント

場 面	注意するポイント
飲酒を伴う懇親会等	◆ 大声 での会話、 お酌 は避けて
大人数や長時間の飲食	◆ 大人数 、 長時間 の飲食、 はしご酒 は避けて
マスクなしでの会話	◆外出時、職場では マスク を着用
狭い空間での共同生活	◆相部屋では 十分な換気 、できるだけ マスク の着用 共用部分 の消毒
居場所の切り替わり	◆ 休憩室 、 喫煙所 、 更衣室 での 3つの密回避 、 ソーシャルディスタンス の確保